

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）2016年度（平成28年度）  
第3回理事会 議事録

[1] 開催：2016年12月2日（金）13:00～17:50

[2] 場所：JTU事務局（東京都渋谷区）会議室

[3] 出席者（理事19名、監事1名）：

國分孝雄、森崎俊紘、大塚眞一郎、中山正夫、仲井公哉、岩城光英、鈴木貴里代、山倉紀子、飯島健二郎、村瀬訓生、和田知子、増田芳一、大関辰郎、園川峰紀、吉田隆雄、岸田吉史、宗定敏文、加納修二、森兵次、（以上、理事）。荻原政吉、（以上、監事）。

・専門委員長・リーダー（8名）山根英紀（強化委員長）、笠次良爾（メディカル委員長・アンチドーピング委員会）、山本良介（アスリート委員長）、富川理充（パラリンピック対策チームリーダー）、石井なおみ（女子委員長）、中原恭恵（女子委員）、伊藤一博（技術委員長）、川添勝（審判委員長）。

・事務局（3名）佐藤政人、坂田洋治、児玉健太。

[4] 議事の経過

JTU 定款第6章（理事会）第34条（決議）により、事務方から、理事出席19名で定足数を満たしていることが報告された。同定款33条（議長）により、國分会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行い、議事録承認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名して直ちに議案の審議に入った。議案について、事務方から「2020年に向けた新組織体制案」を第1号議案として加える提案があり、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

第0号議案）前回議事録

2016年度（平成28年度）第2回理事会の議事録案について、メール回覧済であることを報告した後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認した。

・承認事項1）2016年度第2回理事会の議事録案（開催：2016年9月28日・JTU事務局：東京都渋谷）

第1号議案）2020年に向けた新組織体制案

標題議案について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項：2020年に向けた新組織体制案（新規委員会等：将来構築プロジェクト、普及促進グループ、事業資格管理グループ、強化チーム、オリンピック対策チーム、パラリンピック対策チーム、マルチスポーツ対策チーム、国体委員会他）

・説明骨子：2020年及び、それ以降に対応できる組織体制が求められる。現行の組織を基本とした、新たな組織体制案に即した細則及び専門委員会規程の改定案を2017年3月理事会に提出する。

第2号議案) オリンピック選手強化(2017以降)及び2016対策チーム関係  
標題議案について飯島理事から説明、山根強化委員長から補足説明があり、質疑応答の後、  
議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) エリート強化指定選手制度(2017年)・主要変更箇所: ITU ポイントリストの連動。

- ・主要意見) 全国各地で急速に力をつけてきた選手の引き上げのために、認定記録会開催が有効であることが説明された。認定記録会は、加盟団体が実施するもので、一人でも開催可能であること、事前公示の記録会であれば、記録は認定されるなどが確認された。詳細はJTU ウェブマガジン「認定記録会情報」を参照。

- ・承認事項2) ITU 公式大会・JTU 出場推薦基準(2017年)
- ・承認事項3) JTU トライアスロン公式大会・出場推薦基準(2017年)
- ・承認事項4) NTT トライアスロン・ジャパンランキング(2017年)
- ・承認事項5) ASTC アジアトライアスロン選手権(2017/パレンバン) 選考基準
- ・承認事項6) JTU ジュニア強化指定選手制度(2017年)・主要変更箇所: ITU ポイントリストの連動。
- ・承認事項7) 日本 U23・U19・U15 トライアスロン選手権出場基準(2017年)
- ・承認事項8) JTU トライアスロン・ジュニアランキング(2017年)
- ・承認事項9) ITU 世界 U23/ジュニア・トライアスロン選手権(2017/ロッテルダム) 選考基準

- ・承認事項10) ASTC アジア U23/ジュニア・トライアスロン選手権(2017/パレンバン)
- ・補足事項) 本選考基準1) に第22回日本トライアスロン選手権(2016年10月9日実施済) U23 カテゴリーで1位(総合16位以内)と設定。本来であれば日本選手権前に公表すべき基準であるが、事前に理事への報告および、同競技説明会にて本基準を告知したことが報告された。

- ・承認事項11) JTU トライアスロン・アカデミー事業(改定)案・主要変更箇所: 認定期間を2年間とし、認定見直しに関する記述を追記。

- ・承認事項12) JSC 次世代ターゲット・スポーツの育成強化委託事業 平成28年度追加事業

- ・ターゲットアスリートの新規追加 1)久保埜南、2)瀬賀楓佳、3)高橋世奈の3名
- ・海外コーチとして Darren Smith 氏を招へい。
- ・当該事業のスタッフ(海外コーディネーター一件通訳、情報戦略スタッフ等)の謝金につ

いて JSC 競技力向上事業助成金実施要項（H27）の助成対象経費の基準とし、30 万円/月にて対応する

・合宿・遠征時の選手・スタッフの食費などに関する補助として日当（¥5,000/日）を支給する。支給方法は各委託事業の要綱に則る。

・承認事項 13) JTU トレーニングセンター・強化拠点・強化クラブの整備事業と認定基準  
・補足事項) 認定拠点の活動報告を適宜理事会に行うことと法人格の取得を義務化することが補足報告された。

・承認事項 14) JTU 強化クラブ新規認定

・新規認定) 新日鐵住金株式会社鹿島製鉄所トライアスロン競技部（茨城）新規認定

・議案取下げ) SQUAD TAKUYA（愛知）については法人格を取得後、再度理事会に申請。

・主要意見) 実業団等のクラブでは、企業が法人格を取得している場合があり、クラブ単体では法人格を所有していない。クラブのリスク管理について、契約締結など検証が必要。

・再提案事項) 第 23 回日本トライアスロン選手権（2017/東京・台場）出場基準

・主要変更箇所) 地域ブロック枠の削減。

第 23 回日本トライアスロン選手権（2017/東京・台場）出場基準 地域ブロック枠の削減について、事務方から説明が、鈴木担当理事、山根強化委員長から補足説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、削減方法等複数意見があることから、議案を取り下げること、オリンピック対策チーム、事業企画委員会から再提案することが提起され了承された。

・主要意見 1) 日本選手権は日本一の選手を決める大会であり、都道府県別対抗である国体との棲み分けが必要。ジャパンランキングへの位置けを高めるために、地域ブロックの削減が必要。

・主要意見 2) 国体実施がない年度については、地域選手の目標が失われることを懸念。

\*2017 年 1 月 6 日に再提案の後、承認された。

第 3 号議案) パラリンピック選手強化（2017 以降）及び 2016 対策チーム関係  
標題について富川パラリンピック対策チームリーダーから説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 2017 年 JTU パラトライアスロン強化指定選手制度

・承認事項 2) 2017 年 JTU パラトライアスロン強化指定選手

・承認事項 3) 2017 年 JTU パラトライアスロンナショナルチーム選手制度

・承認事項 4) ITU World Paratriathlon Events 選手選考基準

・補足事項) ITU World Paratriathlon イベント・W杯など大会の階層が変更となる可能性があり、ITU のレギュレーションに則って基準は臨機応変に対応。

- ・承認事項 5) 2017 Yokohama ITU World Paratriathlon Event (ITU 世界パラトライアスロン横浜大会・エリートパラトライアスロンレース) 選手選考基準
- ・承認事項 6) ITU クラシファイヤー資格取得希望者の公募の案内

#### 第 4 号議案) 強化全般

1) マルチスポーツ委員会関連議案について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2017 年 JTU デュアスロン強化指定選手制度
- ・承認事項 2) 2017 年 ITU 世界ロングディスタンス・デュアスロン選手権出場基準
- ・承認事項 3) 2017 年 ITU 世界ウィンタートライアスロン選手権日本代表選手選考基準
- ・承認事項 4) 2017 年日本ロングディスタンストライアスロン選手権出場基準
- ・承認事項 5) 2017 年 JTU 主催共催ロングディスタンストライアスロン大会エリート出場基準
- ・承認事項 6) 第 18 回日本デュアスロン選手権(2017/福島)エリート・U23・ジュニア出場基準

#### 2) チェコ共和国若手選手の JTU 強化事業参加特例

チェコ共和国の若手有望選手が JTU の仲介を経て同志社大学に留学し、日本強化選手との積極的な交流、U23 強化合宿参加などを希望している件について、飯島理事から説明・原則容認する提案があり、質疑応答の後に、議長が賛否求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- ・承認事項 1) チェコ共和国若手選手の JTU 強化事業参加特例の方針
- ・補足事項) 日本選手への刺激になりえる選手であること、過去類型事例があることから、JTU 強化事業(合宿等)において受入を行う方針。派遣における費用は基本自己負担、大会出場については大会毎の基準に準じる。なお、日本選手権(U23・U19 等)へは現行の基準では出場はできないことが補足された。

#### 第 5 号議案) 第 1 種公認審判資格者・新規申請

川添審判委員長から説明があり、議長が賛否を求めたところ、決意表明文など書類不備者については JTU 審判資格制度に準じた内容で再提出することを前提に、条件付きで承認可決した。

- ・承認事項 1) 第 1 種公認審判資格者・新規申請全 5 名(青山栄市・加藤豊:山形県連合、古桑整:岩手県連合、関根勇・大平幹雄:茨城県協会)

#### 第 6 号議案) 関西ワールドマスタースゲームズ 2021 開催地

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 開催地について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 関西ワールドマスタースゲームズ 2021 開催地

- ・トライアスロン・アクアスロン：徳島県美波町 ひわさうみがめトライアスロンコース
- ・デュアスロン：京都府南丹市桂川（大堰川緑地公園）及び周辺地域
- ・補足事項1）徳島県海部郡美波町と開催に関する確認書締結。京都府南丹市とも同様の確認書を取り交わす予定であることが報告された。

#### 第7号議案) 専門委員の委員候補

専門委員の委員追加候補について、事務方から説明の後、各専門委員長から補足説明があり、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) JTU メディカル委員・新規（3名）
  - 1) 平泉 裕、2) 山田慎、3) 福島一雅\*トライアスロンメディカル支援活動多数。
- ・承認事項2) JTU 高校生普及委員会・新規（1名）
  - 1) 高橋弘敬（兵庫）\*現役高校教諭。
- ・承認事項3) JTU 事業企画委員会・新規（3名）
  - 1) 望月浩（東京）、2) 磯村 諒（愛知）、3) 渡邊享子（東京）\*2020 東京オリンピック・パラリンピックに向け、大会組織委員会等との準備業務の促進のため。

#### 第8号議案) いじめ防止に係る認識向上と協力方針

いじめ防止に係る認識向上と協力方針について事務方から説明があり、岩城理事からいわき市の事例の補足説明があった。質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) いじめ防止に係るトライアスロン競技界での推進の取組みの賛同し、JTU 理事会およびJTU アスリート委員会が推進役となり啓発を進めることを基本方針として承認する。これを全国に告知する。

- ・基本方針と標語例)
  - ・「公益社団法人日本トライアスロン連合（理事会）は、小学生から始まる若年選手の増加に伴い、JTU 倫理規程を徹底するとともに、所属チームや所属校内でのいじめ防止の重要性を理解し、この防止に努めるものとする。トライアスロン選手・コーチが日頃の練習、大会・催事参加などにおいて、いじめ防止の重要性を認識しあい、この防止に協力する意識を向上させる。さらに、国際トライアスロン連合（ITU）、アジアトライアスロン同盟（ASTC）及び関連団体との連携による対応策検討をめざすものとする。本件参考：文部科学省のいじめ防止対策推進法※」
  - ・標語例：「いじめない。いじめられない。いじめ：みんなで、守ります。」

- ・説明骨子) 公益財団法人日本体育協会を通して文部科学省からいじめ防止に係る認識の向上の協力の依頼があり、本会として、JTU 倫理規程を徹底するとともに、所属チームや所属校内でのいじめ防止の重要性を理解いただき、この防止に努める必要がある。JTU

理事会の賛同を得て、JTU 理事会および JTU アスリート委員会が推進役となり啓発を進めていく必要があり、本提案に至った。

#### 第 9 号議案) 表彰・役員委員等候補

1) 日本スポーツ大賞・日本パラスポーツ大賞について事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 日本スポーツ大賞 推薦選手「上田 藍」
- ・承認事項 2) 日本パラスポーツ大賞 推薦選手「秦由加子」

2) 2020 東京オリンピック・パラリンピックスポーツマネージャー選定について事務方から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。また、國分 JTU 会長から委嘱状の贈呈が行われた。

- ・承認事項 1) 2020 東京オリンピック・パラリンピックスポーツマネージャー「鈴木貴里代 (JTU 理事)」の委嘱
- ・補足事項) 本委嘱について、理事会が任命責任を果たすため業務状況の把握を適宜行うことが補足された。

#### 第 10 号議案) エイジグループ普及委員会 承認事項

エイジグループ普及委員会 承認事項について事務方から説明があり、鈴木理事から補足説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 第 9 回 WMG 2017 オークランド大会エイジグループ日本代表選手出場基準。但し、ナショナルチームウェアの着用を規定と保険に関する事項・誓約書を追記することとドクタートライアスリートの扱いについては記載を削除し、基本承認とする。

・補足事項) ドクタートライアスリートの扱いについては、現在掲載中の基準類についても削除を行う。

・承認事項 2) 2017 JTU エイジランキング対象大会ガイドライン

・補足事項) エイジランキング対象大会へは、2017 年度より、標記総経費 30 万円 (税別) を経費は、次の項目を含むものとする。(エイジランキングシステム運用費、大会広報関連費、世界選手権等への代表選手派遣補助費、その他本システムを効果的に展開するための諸経費)。対象大会の特典として物品の提供 (スイムキャップ、NAS ウォーター、アミノバイタル\*数量は別途調整) と広報支援が報告された。

#### [ 5 ] 報告と提案

1) 女子委員会アンケート (石井女子委員長)

大会や組織への女子選手そして女子役員の参加比率を向上させることを目標とした活動事

業報告があった。さらに、ITUの指針に則り、全国のJTU加盟団体の組織そして諸事業における女性比率20%達成を目標とし、各加盟団体にアンケート調査を実施することが報告された。

・事業展開報告 1) 団体組織内での女子の権利の確保。 2) あらゆるハラスメント行為の防止。 3) 大会での盗撮・防止。 4) 大会や会議での子供育児対応の促進。 5) 女子選手と男子選手の同一対応促進

・ITU 指針共有。大会での強化費・賞金の平等化。女子選手の優先的な報道機会の促進。女子委員会の活動支援。IF や AF での女子役員の優先採用。前述での会議への女子出席の優先

## 2) 2017年度大会日程（大塚専務理事）

2017年度の主要大会案が報告された。

・説明骨子) 昨年度から次の変更・新設があった。 1) アジアカップ大阪城大会の新設、 2) U23・U19 は七ヶ浜での開催を検討、 3) アジアカップ高松大会：7/8 エリート、7/9 エイジの新設、 4) えひめ国体プレイベントの開催。

3) 沖縄県本島でのロングディスタンストライアスロン大会開催の検討（大塚専務理事）  
事業企画委員会を中心に、沖縄県連合と協力しながら、本島開催の検討状況が報告され、森理事から道路の封鎖などについて地元警察交渉など難航しているが、前向きに開催に向けた協議が進んでいることが報告された。

## 4) JTU 会員カードの発送（事務方）

カードの発送状況の報告と、会員証のWEBダウンロードの推奨についてブロック理事から加盟団体へ依頼することが報告された。

## 5) 高校生普及委員会（園川理事・高校生普及委員長）

高校生普及委員会の事業計画（2023年の高校総体（インターハイ）参入と、高校生選手権大会の開催検討）の報告があった。

## 6) 技術委員会（伊藤技術委員長）

岩手国体について、台風の影響で、コース変更を余技なくされたが、開催実施の報告があった。また、技術委員会として地域団体とより連携を図り、よりより大会開催を図ることが報告された。

## 7) 審判委員会（川添審判委員長）

岩手国体は開催状況の報告があった。スイムスタート方式についてあらたな試みを行ったが、廿日市アジア選手権でのテストなども実施できたため、成功に終わったと報告された。ITU level 1・2・3の資格について資格取得者増加についての活動の報告があった。

8) メディカル委員会 (笠次メディカル委員長)

大会安全対策アンケートの集計結果等について、次の理事会までに回覧することが報告された。

9) アスリート委員会 (山本アスリート委員長)

ナショナルチーム合宿の開催報告。委員会メンバーの再編および、アスリートが活躍できる環境整備を行っていききたい。

[6] 次回理事会

2016年度(平成28年度)第4回理事会:2017年3月24日(金)都内\*3月17日から24日に変更(2017年2月5日現在)

[7] 閉会宣言

森崎副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、17時50分に閉会した。

議事録署名と押印:

國分孝雄・議長・会長・代表理事) (印) 2016年 月 日

荻原政吉・監事) (印) 2016年 月 日

大塚眞一郎・専務理事) (印) 2016年 月 日

園川峰紀・理事) (印) 2016年 月 日